

新年のご挨拶

対馬市長 松村良幸



新年明けましておめでとう
ございます。市民の皆様には、
ご健勝にて新しい年を迎えら
れたことと心からお慶び申し
上げます。

皆様には平素より市政に対
し深いご理解とご支援、ご協
力を賜わり心より厚くお礼申
し上げます。

さて、昨年を振り返ります
と、対馬の次代を担う小・中
・高校生の多分野に亘る全国
を舞台にした活躍は、対馬市
に大きな勇気と希望を与えて
くれました。今年の更なる飛
躍を楽しみにしたいと思いま
す。私子どもたちにもらった
元気と「やれば出来る」の
精神で、市民の皆様の幸せを
第一に、対馬市の明るい未来
のために全力投球で市政に取
り組んでまいりる所存でありま
す。

一方、対馬市の現状は、合

併2年目を迎え、市民の皆様
が少しでも安全で安心して生
活できる市政の推進に努めて
まいりましたが、意に反し、
動揺と不安感を与える結果に
なりましたことを深くお詫び
申し上げます。

そのような中、本市の財政
については、国庫補助金、税
源、地方交付税を一体として
見直す改革、いわゆる「三位
一体改革」など、地方分権の
大きな潮流の影響から、税源
の乏しい本市にとって財政運
営が極めて厳しいものとなり
基金の取り崩しにより窮乏す
る財源を補い、市政を運営し
ているところであり、市民の
皆様には多大なご負担とご辛
抱を強いることになり、大変
心苦しく思っております。

昨年8月の行財政改革推進
委員会の答申に基づき、12月
には行財政改革大綱を策定し

たところであります。本年は
行政改革をさらに推進し、財
政再建とともに効率的で開か
れた行政システムの確立を目
指し市民サービスの更なる向
上を図ってまいります。

また、逼迫した財政状況の
中ですが、事業の選択と集中
により効果的・効率的な政策
を展開するとともに、市民の
皆様の声を反映させ策定した
「新対馬市総合整備計画」を
基本として事業を推進してま
いります。

その中でも、公共と商業の
複合ビルである今屋敷地区市
街地再開発ビルについては、
本年10月オープンを目指し整
備を推進しております。完成
後は、市民の皆様や国内外か
らの来島者のふれ合いと賑わ
いの場となるものと期待して
おります。

さらには、情報開示と情報

の共有化を推進するため「対
馬市有線テレビ」の施設整備
を進め、市民参加のまちづく
りを図ってまいります。

また、企業誘致に努め、雇
用拡大、定住人口の増加を図
り、合併による理想的なまち
づくりの実現に向け、市民の
皆さまの幸せを念頭に置いた
各種施策に取り組んでまいり
ます。

私はこれまで、孔子が説い
たとされる「近き者悦び、遠
き者来る」という政治に対す
る考え方に一歩でも近づきた
いと考え、自らの判断と責任
によって行政に取り組んでま
いりました。

地方分権は自己決定、自己
責任がその根幹であり、市民
が一体となつて強力な体制を
構築することが求められてお
ります。市民皆様には、市政
推進に対しまして、今後とも
なお一層のご支援、ご協力を
賜りますようお願い申し上げ
ます。

皆様にとって、新しい年が
幸多い年でありますようご祈
念申し上げ、新年のご挨拶と
させていただきます。

市長の動き

〈12月〉

- 2日〓 離島ゲートボール親善
大会実行委員会
- 4日〓 村田兆治氏野球殿堂入
り祝賀会（東京）
- 5日〓 県漁港漁場協会要望活
動（東京）
- 6日〓 離島留学推進委員会
- 7〓 9日〓 対馬市議会定例会
- 10日〓 対馬市総合計画審議会
- 11日〓 「万葉のまほろば」旅
行交流会
- 12日〓 郵政事業地方公共団体
連絡協議会
- 13日〓 ツシマヤマメコ国際会
議打合せ
- 15日〓 対馬ブランド化推進協
議会
- 16日〓 対馬市議会定例会
- 19日〓 県漁港漁場協合理事会
（長崎）
- 20日〓 全国離島振興協議会・
各都道府県離島関係台
同会議（東京）
- 23日〓 齋藤隆一氏叙勲受賞祝
賀会
- 24日〓 市長と語る（収録）
- 28日〓 仕事納め式

対馬市議会議長 平間利光



市民の皆様明けましておめでとございます。平成18年の年頭にあたり謹んでご挨拶申し上げます。

皆様にはご健勝にて輝かしい新春を迎えられた事とお喜び申し上げます。対馬市が誕生してから早くも1年10ヶ月が経過致しました。昨年は5月に対馬市初めての議員選挙も行われ、新生26名による議会体制も整い、議員全員で行政推進に取り組んで参りました。その間、市民の皆様には高度なご理解とご協力をいただきました事に心から感謝し厚くお礼を申し上げます。

さて、今日の社会情勢は国、地方を含め厳しい財政状況で

あり、対馬市に於いても、今まで経験した事のない厳しい財政下での行政推進が強いられております。私達はこのような厳しい現状をなんとかして克服しなければなりません。恵まれた水産資源や自然、歴史的資源の活用を今まで以上に真剣に検証し、市政に反映させなければならぬと考えております。

このたび、市の行財政改革大綱が示され議会としても12月定例会において確認した所であります。対馬市の今後の行政推進の基本ともなる行財政改革を進めるには、市民の皆様にも今まではない痛みを共有していただく事になると思いますが、市民の皆様と高度なご理解とご協力をいただきながら市民総参加で進めて参らなければなりません。この事は対馬市の安定的発展の基礎作りになると確信致しております。

行政の「一画」を担う議会といたしましても、住民のニーズを的確にとらえ行政に反映させながら市政発展に努めてまいりたいと気を新たにいたしているところでございます。

今後の行政推進にあたっては「自ら考え企画し行動する」自主自立の時である事を再認識し、市民の皆様にも主役になっていただき、連帯と協調の確立を図り、市民皆様と共に智恵を出し合い、諸問題の解決と行政の安定躍進の基礎作りを進めて参ります。

美しく豊かな自然にまつまられた国際色あふれる文化と歴史をもつ対馬市の明日のため、市民皆様の温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて昨年の12月定例会において、今後年賀状の差し出しを選挙区にはしない事を議員全員で申し合わせ致しました。この事は法律でも定められていますが、議員自ら姿勢を正さなければならぬという思いから申し合わせを致しました。市民の皆様には深いご理解をいただきますようお願い致します。

最後に本年が市民皆様にとって素晴らしい年となりますようお祈り申し上げますと共にご健勝、ご多幸を心よりご祈念申し上げます。年頭の挨拶といたします。

市長ら韓国へ友好交流訪問



蔚州郡での「友好協力了解書」締結の様子



影島区での「姉妹縁組締結書」交換式にて

11月14日から17日に、対馬市から松村市長、平間市議会議長をはじめとする9名の韓国訪問団が、蔚山広域市蔚州郡と釜山広域市影島区を訪問しました。

11月15日は、松村市長と蔚州郡の嚴郡守との間で新羅国の朴堤上殉国碑と、15世紀に通信使等として何度も対馬を訪れた李藝功績顕彰碑の保存のための「友好協力了解書」を締結しまし

た。

また対馬島は、昭和61年に影島区との間で姉妹縁組を結んでいましたが、さらに両地域の発展と繁栄を促進するために、16日には、改めて松村市長と朴区庁長との間で「姉妹縁組締結書」を交わしました。

今後は、両自治体と文化交流だけでなく経済交流にまで発展することが期待されています。